

人権学習展開例（第1学年）

主題名

相手の気持ちを考えて

教材名

かえりみち

人権学習の視点

個別的な視点「子どもの人権問題」

主題・教材について

子どもたちは、いったん遊び相手を決めると他を受け入れず、思いやりのない行動をしてしまうことがある。ここでは、遊びに誘ったが断られた子どもの気持ちを考えることを通して、相手の気持ちを思いやった話し方や行動をとろうとする心情を養いたい。



ねらい

相手の気持ちを考えて、思いやりの気持ちをもった話し方や行動をとろうとする心情を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○友達を遊びに誘ったことや友達に誘われた体験を思い出させる。	一斉	○昨日や今日、だれと遊んだかを思い出す。	○昨日、今日と学校生活の中で起こったことなど、身近なことで考えさせる。	
展開	友達に、どんなふうにお話するといいいかな				
	○絵の場面の設定を理解させる。	一斉	○さし絵と会話文から場面を想像させる。	○イメージがふくらむように、できるだけ具体的な場面を想起させる。	資料「かえりみち」
	遊びを誘って断られたとき、どんな気持ちだろう				
	○断られて一人取り残された子どもの気持ちを考えさせる。	個別 一斉	○断られたときの気持ちをワークシートに書き、発表する。	○断られた子どもの気持ちに寄り添いながら考えさせる。	ワークシート①
	あなたがまりちゃんなら、どう言いますか				
	○自分ならどう言うかを考えさせ、発表させる。	個別 一斉	○自分の考えをワークシートに書き、発表する。	○相手の立場になって考えさせる。	ワークシート②
まとめ	○相手の気持ちを考えて行動することの大切さに気付かせる。	一斉	○教師の話を聞く。	○他のわかりやすい具体例を話しながら理解させる。	

評価

相手の気持ちを考えて、気持ちの良い言い方や行動をしようとする心情を養うことができたか。

